

令和5年度（令和4年度実績）  
白馬村第5次総合計画・総合戦略評価



令和6年2月

資料1 白馬村第5次総合計画・総合戦略評価について

資料2 白馬村第5次総合計画評価シート

資料3 外部評価委員・事務局名簿

## 令和 5 年度（令和 4 年度実績）白馬村第 5 次総合計画評価について

## 1. 評価の目的

総合計画、総合戦略の重要業績評価指標（KPI）を内部（役場）と外部（住民）がPDCAサイクルに基づき、事業進捗状況を確認するため、毎年度評価を実施します。

○白馬村第 5 次総合計画 21 ページ 3. 総合計画の推進より  
開かれた村政と住民参画の推進を村政運営の基本とします。計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画が進捗しているかの検証を行うための組織の設置、コーディネーター役の配置、PDCAサイクル仕組みの構築などを行い、随時点検と見直しを行います。

○白馬村総合戦略 31 ページ（6）PDCAサイクルの確立  
「まち・ひと・しごと創生」を実現するためには、PDCAサイクルを確立することが必要不可欠であり、重要業績評価指標（KPI）の設定により、効果の検証を行い、必要に応じ見直しを図ります。

○「PDCAサイクル」とは  
事業の管理業務を円滑に進める手法の一つ。  
Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組みを言います。

白馬村第 5 次総合計画では、PDCAサイクル実現のために役場職員による内部評価、住民による外部評価を実施し、評価を公表します。

## 2. 評価スケジュール

期日	区分	備考
11月下旬	担当課による内部評価	評価コメント
12月～R5.1月	外部評価委員による外部評価	5段階評定平均点及び評価コメント
R5.1月	総合計画等評価委員会	評価とりまとめ
2月	庁内情報共有	
2月	ホームページ等により公表	

## 3. 評価シートの見方

区分	内容
評価方法	総合計画の指標（KPI）に基づく内部評価、外部評価
内部評価	担当課による実績値報告と自己評価コメント
外部評価	委員による 5 段階評定の平均点及び評価コメント
	5 期待した成果
	4 概ね期待した成果
	3 半分程度の成果
	2 現時点では成果がみられない
1 ほとんど進んでいない	
* 内部・外部評価は、令和 4 年度実績に対する評価です。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント					
暮らし_安心して みんなが暮らせる 村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	住民参画と協働	行政区の主体的な取 組みの支援	総務課	行政区加入率 ・(世帯) : 2,680/3,817≒70% -アパート居住者は短期世帯、他世帯 の存在を除外すれば、9割程度になると 見込む	70%	66%				80%	・加入率自体は、前年度より向上した。認可地縁団体においては、加入率要件の意識の高まりを感じており、引き続き率向上が引き続き課題である。	外部評価基準 2.8	2.8	・行政区の加入率低下によるコミュニティの希薄化・区費の負担増などにつながる。本来地区に加入すべき世帯が加入していない。 ・行政区への支援を継続するだけでなく、各地区がより積極的に地域づくりのアイデアを考える必要がある。まちづくり推進交付金については住民活動への周知が求められる。 ・地区への加入を阻害する要因の抽出と排除を進める必要がある。 ・負担軽減のためにも行政と地区の活動の根本的な見直しを実施すべき。 ・地区の外国人移住者、短期移住者の把握をどう構築していくか検討すべき。					
					地域づくり事業補助金活用地区	23					引き続き効果的な地域づくり事業が図れるよう、行政区役員への連携を図ります。									
			行政区の継続的な活 動の支援	総務課 農政課 建設課	この列には令和4年度の実績値が入力されています。 この実績値が【R7 2025 目標数値】に対してどのような状況なのかを【R4実績についての内部評価コメント】で説明しています。															
					この列には令和7年度時に達成すべき目標となる数値を入力しています。															
			住民活動・NPO等の支 援	総務課	協働のまちづくり推進交付金交付件数 (累計)	2	2									5	4年度に認定された事業者は2件。交付決定は2件となっています。引き続き事業推進のため、周知を行います。	外部評価委員の皆様から評価の際にいただいたコメントを掲載しています。	3.6	・ユーテレ白馬の加入件数が伸びていますが、視聴率の分析等あり方についても検討が必要。
			行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数)	152,207	150,256					200,000				行政FBを活用した情報発信を行うことで、トップページを介さず、直接関連するページへのアクセスも増加しています。 今年度ゲートページ及びトップページデザインの改修を行い、さらなる魅力の創出につなげます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない			
		行政FB いいね！数			2,080	2,201			2,000 2,500	すでに目標値を上回っているため、KPIの上方修正を行います。SNSを活用した情報発信を引き続き強化していくとともに、プッシュ型情報発信についても検討を行います。										
		意見交換の場づくり	総務課	村への施策提案等のシステム構築 (行政懇談会の開催状況：R3・4地区)	4	5						1	・指定管理者との連携により加入件数は着実に増加しています。引き続き魅力向上策の取り組みと、行政施策情報の適格な発信に努めます。							
		多様な人々の 交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	8,452	8,566						9,000	人口については昨年度と比較すると、増加しております。人口増加に向けて、様々な分野からの住民増加へつなげる事業を実施するようつとめます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・インバウンド需要もあり、人口も増えていると推察するがその一方で空き家対策も課題であることから移住定住を促す補助制度も必要。 ・移住後、豊かな生活を手に入れる事例を増やすことも重要なので、移住者が抱える課題を把握する必要がある。 ・地域おこしの協力隊の人数と白馬ファンを獲得する活動が少ない。 ・家を建てたいが土地がない、物件がないという声を非常に多く聞く。家賃の高騰、空家など今後の課題を把握してほしい。			
					人口の社会増数	-60	330					200	新型コロナの終息により、社会増数も増加しました。							
					地域おこし協力隊員数	2	1					10	令和4年度の地域おこし協力隊の採用は1名でした。募集をしても、採用にまでいかない例があるため、今後募集要綱の見直しについて検討を進めます。							
					移住イベント出席回数	2	2					4	効果的なイベントについては引き続き参加していきます。また、住宅に対する問い合わせが増え、空き家対策との連携、土地の活用について、今後検討していきたい。							
					移住者数	102	20					80	移住アンケートの回答数の減少、土地の高騰や不足により、移住者数が減少したと見られます。今後、空き地・空家の把握、空家バンクの推進について検討します。							

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント				
暮らし__安心して みんなが暮らせる 村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	住民参画と協働	行政区の主体的な取 組みの支援	総務課	行政区加入率 ・(世帯) : 2,680/3,817≒70% ・アパート居住者は短期世帯、他世帯 の存在を除外すれば、9割程度になると 見込む	70%	66%				80%	・加入率自体は、前年度比4%の減少となりました。認可地縁団体への移行を目指す地区においては、加入率要件をクリアするため、地区内の意識の高まりを感じます。一方で、懸念事項として認識するアパートに居住する世帯の加入率向上が引き続き課題です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.8	・行政区の加入率低下によるコミュニティの希薄化・区費の負担増などにつながる。 ・本来地区に加入すべき世帯が加入していない。 ・行政区への支援を継続するだけでなく、各地区がより積極的に地域づくりのアイデアを考える必要がある。 ・まちづくり推進交付金については、住民活動への周知が求められる。 ・地区への加入を阻害する要因の抽出と排除を進める必要がある。 ・(地区役員の) 負担軽減のためにも行政と地区の活動の根本的な見直しを実施すべき。 ・地区の外国人移住者、短期移住者の把握をどう構築していくか検討すべき。				
					地域づくり事業補助金活用地区	23	20			30	引き続き効果的な地域づくり事業が図れるよう、行政区役員への連携を図ります。								
			行政区の継続的な活 動の支援	総務課 農政課 建設課	集落支援員数	6	6			5	【総務課】2名 R4においては、認可地縁団体への移行に関する相談支援業務が増加しました。また、総合窓口業務における外国人住民対応については、庁内横断的に支援業務を展開し、それぞれ業務の拡充が図れました。【農政課】2名 集落規模に関係なく支援しています。草刈、支障木伐採等、大変助かる旨の意見があります。【建設課】2名 令和4年度も引き続き集落支援員2名を雇用し、夏期の道路維持作業及び冬期の凍結防止剤散布作業等対応しました。これによりきめの細かい道路維持作業が出来たほか除雪コストの低減にもつながりました。								
		住民活動・NPO等の支 援	総務課	協働のまちづくり推進交付金交付件数 (累計)	2	2				5	4年度に認定された事業者は2件。交付決定は2件となっています。引き続き事業推進のため、周知を行います。								
		開かれた行政運営	行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数)	152,207	150,256					200,000				行政FBを活用した情報発信を行うことで、トップページを介さず、直接関連するページへのアクセスも増加しています。今年度ホームページ及びトップページデザインの改修を行い、さらなる魅力の創出につなげます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・HPやFBの数値はいい傾向。FBは村内向けと村外向けの両方の情報発信を引き続き強化してほしい。 ・ユーテレ白馬の加入件数が伸びているが、視聴率の分析等あり方についても検討が必要。
					行政FB いいね! 数	2,080	2201				2000 2500	すでに目標値を上回っているため、KPIの上方修正を行います。SNSを活用した情報発信を引き続き強化していくとともに、プッシュ型情報発信についても検討を行います。							
					ユーテレ白馬加入件数	2,128	2,179				2,200	・指定管理者との連携により加入件数は着実に増加しています。引き続き魅力向上策の取り組みと、行政施策情報の適格な発信に努めます。							
			意見交換の場づくり	総務課	村への施策提案等のシステム構築 (行政懇談会の開催状況：R3・4地区)	4	5				1								

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント	
暮らし__安心して みんなが暮らせる 村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	多様な人々の 交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	8,452	8,566					9,000	人口については昨年度と比較すると、増加しております。人口増加に向けて、様々な分野からの住民増加へつなげる事業を実施するようつとめます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・インバウンド需要もあり人口も増えていると推察するが、その一方で空き家対策も課題であることから移住定住を促す補助制度も必要。 ・移住後、豊かな生活を手に入れる事例を増やすことも重要なので、移住者が抱える課題を把握する必要がある。 ・地域おこしの協力隊の人数と白馬ファンを獲得する活動が少ない。 ・家を建てたいが土地がない、物件がないという声を非常に多く聞く。家賃の高騰、空き家など今後の課題を把握してほしい。
					人口の社会増数	-60	330				200	新型コロナの終息により、社会増数も増加しました。				
					地域おこし協力隊員数	2	1				10	令和4年度の地域おこし協力隊の採用は1名でした。募集をしても、採用にまていない例があるため、今後募集要綱の見直しについて検討を進めます。				
					移住イベント出展回数	2	2				4	効果的なイベントについては引き続き参加をしていきます。また、住宅に対する問い合わせが増えており、空き家対策との連携、土地の活用について、今後検討していきたい。				
					移住者数	102	20				80	移住アンケートの回答数の減少、土地の高騰や不足により、移住者数が減少したと見られます。今後、空き地・空家の把握、空家バンクの推進について検討します。				
			移住・定住の促進	教育課	小中学校転入児童生徒数	17	31				20	白馬インターナショナルスクールの開校に伴い、転入する生徒、また勤務する職員の児童等の増加により転入者数は増加となっています。インターナショナルスクールは全寮制のため、世帯の転入ではなく生徒単身の転入が多いのが特徴です。				
					税務課	新築住宅戸数（累計）	累計 316 (単年 43)	累計 362 (R4:46)				380 (R1目標230+(30棟×5年))	新築住宅は40軒程度で推移しており、そのうち共同住宅が6棟(34戸)含まれます。住宅は順調に増加しており、貸別荘も増加傾向にあります。			
			多文化共生	総務課	意見交換会開催回数	0	0					2	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催することが叶いませんでした。今後インバウンドのお客様が増加することが予想されるので計画的に実行していきます。			
					英語版広報誌発行回数	12	12					12	各月の広報誌発行に合わせて英語版広報誌の発行を行いました。引き続き広報はくば発行に合わせて毎月発行を行います。			
			村外の白馬ファンの活用	総務課	ふるさと白馬応援隊員数	79	79						80			
		隊員主催イベント回数			0	0						1	新型コロナの影響で開催ができませんでした。引き続き、白馬村のファンを増やせるようなイベントを企画していきます。			
		ふるさと納税返礼品取扱数			251	314						200	目標値は達成していますが、引き続き地場産品の提供を呼びかけ、中間事業者とも協力しながら、新規商品の開拓に努めます。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント
安心・安全の生活を支える村づくり	防災・減災の強化	地域支え合い支援	健康福祉課・総務	支え合いマップ作成地区	26	30					30	近年は未策定地区へのアプローチを進め、結果として全ての地区で完成となりました。今後は、マップの更新のほか、有効な避難に繋がるよう訓練時の活用を進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区の未加入者が増え、隣近所でさえも、誰が住んでいるのか、誰が事業を営んでいるかわからないという声を聴く。特に、外国人居住者（事業者）が増えてきており、防災・減災上の観点から、居住者（事業者）の把握や連絡先等と、災害時等に備えて区への情報も重要。</li> <li>・地区環境整備（草刈り作業等）は、高齢化が進みマンパワー不足が課題。地区担当職員の協力や、集落支援員の雇用により、地区のマンパワー不足を支援する仕組みが必要。</li> <li>・防災アプリの内容が、防災無線と同じ「言葉」なので、アプリの利点である地図や写真、動画によって伝えられる情報が必要。</li> <li>・近年多発している自然災害に対し、強い地域を作るため、治山治水対策について更なる整備を期待する。</li> </ul>
			総務課	防災アプリダウンロード数	1586	2509					10,000	引き続き行政区の集会等で説明会を開催するほか、広報誌や行政ホームページ、村SNS等で氏アプリの周知を図り、ダウンロード数の増加に努めていきます。			
			総務課	消防団協力事業所数	5	5					6	昨年度に引き続き長野県消防団協力事業所知事表彰を1社受賞しました。引き続き事業のメリットを提示しながら村内事業所へ周知を図り、新たな事業所登録につなげていきます。			
				消防団員応援ショップ登録店舗数	11	9					20	事業の周知を徹底し、消防団への理解、協力店舗の増加に努めます。			
			総務課	自主防災組織設立地区数	26	27					30	1地区で新たに自主防災組織が設立され、未設置の地区は残り3地区となりました。引き続き全地区で設置されるよう取り組みを進めていきます。			
			総務課	地震総合防災訓練等参加者数	0	0					300	防災訓練は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。代替としてケーブルテレビで訓練番組とシェイクアウトを実施し、役場内では係長以上で初動対応訓練を実施しました。将来起こりえる地震に対し、住民の関			
				防災備蓄倉庫数	1	1					3				
			建設課 農政課	北内山沢治山堰堤改修	松川支障木伐採他 砂防施設整備 (青鬼他)										

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント		
暮らし__安心して みんなが暮らせる 村	安心・安全の生活を支 える村づくり	日常の住みよさの確保	もてなしの村づくり	総務課	村有地の環境美化活動	2	2					2	夏期の草刈りを行い、景観の美化に努めました。近年は熊の出没件数が多いため農作物や人への被害防止のためにもこれからも定期的に行っていく考えです。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	・行政区問題の解決を併行すべき。 ・住民の移動手段はほとんど改善されていない。 ・生活インフラのうち、道路整備・道路維持補修は良くできている。 ・最も大切なマスタープラン策定が喧伝されていない。住民は誰も知らない。		
					地区の環境美化活動	60	60					60	・地域づくり事業補助金の活用により、引き続き地区の環境美化活動を推進します。				
			地域防犯力の向上	総務課	防犯パトロール回数	23	24					36	昨年度と同様に、コロナ禍の影響もあり目標に達しませんでした。引き続き関係機関と連携し目標回数に達するようパトロール実施に努めます。				
			交通安全の推進	総務課	児童生徒の登校時における街頭指導回数	14	14						18			春夏秋の交通安全運動期間中の平日に、各地区交通安全協会役員により通学路での街頭指導、事務局において見回りを実施し、児童生徒の登校時の交通安全確保に努めました。	
					交通安全啓発に係る広報無線の放送回数	90	90					24→90	交通安全運動実施月において期間中1日3回行政無線において広報を行いました。今後安全運動期間以外においても、情勢により無線放送を実施します。				
			村内の移動手段の確保	健康福祉課	運転免許自主返納支援事業利用者数(累計)	121	136						250			返納者は微増であり、目標数値には達していませんが、返納者の乗合タクシー利用率は高いことから、制度の広報・周知に努めます。	
					観光課	ナイトシャトルバス利用実績	0	12000								15,000	AIデマンドシステムを用いた白馬ナイトデマンドタクシーの実証運行を実施しました。訪日外国人観光客の需要にマッチし、目標値(5,000人)を大幅に上回りました。
				総務課 健康福祉課 観光課 教育課	〈既存公共交通網のネットワーク向上〉 神城駅、白馬駅の乗車人数の実績 (※網形成計画)											現状維持	・大系線活性化協議会等関係団体と連携して、引き続き利用促進策を検討、推進していきます。
					〈通年型観光を支援する公共交通の検討〉 白馬サイクルフェスタの参加者数 (※網形成計画)	0	200									現状以上	新型コロナウイルス感染症の影響により制約がある中、規模を縮小して開催されました。
			生活と観光と医療のための道路整備	建設課	インフラ長寿命化点検済施設数	橋梁点検数18橋										107	令和4年度は88橋で点検を行ったほか、修繕が必要と認められる3橋(大左右橋他)の修繕工事を行いました。
						橋架点検数88橋											24
			安全な住宅の提供	建設課・総務課	村営住宅戸数	木造耐震診断・耐震改修補助件数	0	0								1	耐震診断について相談はあるものの、制度の性格に適合しているものではなく、診断対象ではない建物のため令和5年度は実施していない。
						都市計画マスタープランの見直し											計画見直し
			まちづくりマスタープランによる土地利用計画	建設課	都市計画マスタープランの見直し											8.6	八方地区の調査を継続し北城23区(の登記が完了しました)。
			地籍調査の推進	農政課	地籍調査済面積(ha)	8.47	6										

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる 村	支え合う福祉と健康の 村づくり	子育て支援	安全な妊娠・出産への 支援	子育て支援課	合計特殊出生率	1.15	1.33				1.15	令和5年度より子育て給付金の支給を行い、 合計特殊出生率の維持、向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・ニーズに応じた柔軟な対応を期待する。 ・コロナ禍で、最も不自由を強いられた子供達 への配慮が必要。 ・ハードが絶対的に不足している。 ・最も充実すべき項目であるが、質の向上を 願っている。 ・子育て家庭応援パスポート事業はさらに充 実したほうが良い。
					妊婦基本健診受診率	100.0%	100.0%			100%	全員の受診が図られています。				
					不妊治療費助成件数	7	6			4	不妊治療は、心身、経済面ともに負担が大き いため、今後も相談体制の充実を図ります。				
					年間出生数（累計）	40	38			220 (44×5年間)	出生児数は減少傾向ですが、両親が外国人の 割合が、高くなっています。				
					新生児訪問実施割合	88.9%	97.4			90%	海外出産等を除き、訪問を実施しています。				
					小児科オンライン登録者数	245	258			200	新規登録者は15人です。令和4年度中に生ま れた第1子の家庭はほぼ登録しています				
					産婦人科オンライン登録者数	13	16			20	妊娠中は地域に主治医がいるため、出産後の 小児科オンライン登録が主となっています。				
			安心して産み育てること ができる医療体制の維 持・充実	健康福祉課 子育て支援課	平日夜間救急医療事業箇所数	0	0			維持	新型コロナウイルス感染症対応により、令和2 年4月より休診となり、令和4年3月31日で廃 院となりました。現在はあづみ病院と市立大町 総合病院の救急外来で対応しています。				
					大北圏域産科医数	1→0	0			1	市立大町総合病院は、妊婦健診を担ってい ますが、引き続き分娩の再開を広域的に働きか けます。大北松本地域出産子育て安心ネット ワークに加入し、安心・安全に産める環境 を整えていきます。				
			子育てに関する交流や 相談の場づくり	子育て支援課	"なかよし広場"利用者数	116	656			1,300	コロナ感染症が5類となり利用者数は増加しま したが、出生数の減少、未満児保育利用児数 が増加した影響により、新型コロナ感染症以前 と比較すると少ない状況です。年齢の子育て親 子が気軽に利用できるよう、イベント等を充実 し、魅力ある活動に努めています。				
					"自由利用"利用者数	794	1,240			1,200	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が 敬遠していましたが、5類移行となり回復しま した。いつでも自由に遊びに来れる場所の提供を 継続していきます。				
					子育て支援センター相談件数	318	287			700	センター以外で身近に相談できる保育園や学 校等に相談が分散し、センターへの相談が減少 していると思われます。 相談内容としては、学習等の学校関係の相談 件数が増加しています。				
					子育て支援アプリ 「おひさまメモリーズby母子モ」 登録者数	246	267			250	妊娠届、2ヶ月育児相談の際に、案内をしてお り、ほとんどの方に登録、利用して頂いていま す。				
			子育て家庭への経済的 支援	健康福祉課→ 子育て支援課	小児インフルエンザワクチン助成	613	528			1,000	昨年に引き続きコロナ感染症懸念による受診 控えの影響で、接種者数が減少しましたが、地 域全体のインフルエンザ感染の拡大防止効果 が得られています。				
				子育て支援課	子育て家庭優待パスポート協賛店舗 数	31	32			33	地域全体で子育てを応援する意識を高めるた め、広報等による積極的な周知活動による協 力店舗の更なる拡大に努めます				
子育てと仕事の両立支 援	子育て支援課	休日保育利用者数	189	325			400	出生数は減少していますが、観光産業が主産 協である本村では、休日保育の需要が非常に 高く、通常勤務している保育士が交代で業務を している状況です。保育士確保についても、引 き続き周知を行い事業を実施します。							
		放課後児童クラブ利用者数	427	551			470	共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、年 間を当して利用希望が多いですが、特に観光 業の忙しい長期休暇は利用者が増加します。 今後も継続的に運営できるよう指導員確保も 併せて実施して参ります。							
障がい児支援	健康福祉課	児童通所サービス利用者数	50	51			40	必要な人がサービスを確実に利用できることを 重視します。全利用者の計画相談を基に必要な サービスを実施します。							

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント
暮らし_安心して みんなが暮らせる 村	支え合う福祉と健康の 村づくり	障がい者支援	地域における自立生活 の支援	健康福祉課	障害福祉サービス利用者数	47	46				55	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・それぞれ丁寧なサービスを期待する。 ・障がい者支援に係る相談職員のマンパワー不足。
					共同生活支援支給決定者数	17	18			17	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
					地域移行支援利用者数	1	0			1	令和4年度は申請がありませんでした。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
					日常生活支援用具給付件数	168	146			180	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
					日中一時支援事業利用件数	188	278			300	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
			社会参加の促進と就労 支援	健康福祉課	法定雇用率達成企業数	3	3			2	障がい者の就労に関する理解促進に努めています。				
					障害者優先調達推進法調達額	660,175	736,272			500,000	取扱品目の拡大を働きかけます。				
			権利擁護の体制づくり	健康福祉課	成年後見制度利用支援事業	0	0			1	利用要望があったが、書類の整備が進まず、申立てには至らなかった。今後も相談事業の増加が予想されることから、計画的に事務を進めます。				
					居宅生活動作補助用具支給件数	0	0			1	令和4年度は申請がありませんでした。				
			人にやさしいまちづくりの 推進	健康福祉課 建設課 総務課	地域福祉総合助成事業住宅改修件数	3	2			3	制度の必要な高齢者に対して、包括支援センター・ケアマネ等からサービスを案内するなど、安心して生活のできるよう住宅改修に対する補助を行いました。				
		通訳者派遣利用回数			66	50			17	庁内窓口における各課手続きのための通訳に加え、出先機関等（小学校、保育園）における面談、面接などにおいての需要が増加しています。					
		介護予防取組みグループ数			17	16			25	コロナの影響もあり、活動を一時休止している時期もあった。					
		高齢者福祉	地域包括ケアシステムの 構築	健康福祉課	介護予防事業参加者数	6,031	4,233			7,000	感染対策に気をつけながら教室が開催することができた。				
					地域ケア会議開催回数	5	6			6	感染対策に配慮しながら対面にて開催することができた。				
					配食サービス食数	3,555	2,804			3,000	サービスの利用者数は対前年比1.8倍（18名⇒32名）に増加しましたが、配食数は減少しました。引き続き、サービスを必要とする方への利用拡大に努めます。				
生活支援サービスの体 制整備	健康福祉課		乗合タクシー利用者数	6,662	7,447			9,000	新型コロナウイルスの影響が少なくなったことで外出の機会が増え、利用者数は大幅に増加しました。さらなる利便性の向上に努めます。						
			高齢者の生きがいづくり	健康福祉課	白馬シニアクラブ会員数	1,280	1,280			1,300	会員数は横ばいですが、コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことで今後活動が活発となり、健康増進に寄与することが期待されます。				
シルバー人材センター登録者数	560				571			700	登録者は微増ですが、村内の受注金額実績はコロナ前より150万円あまり増加していました。なお、登録者数は大北全体になります。（白馬村54名）						
認知症対策・権利擁護 の推進	健康福祉課		認知症サポーター数	1,359	189 1,539			1,500	感染対策に配慮しながら、小中学校、民生委員、シニアクラブ等で行うことができました。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント				
暮らし_安心して みんなが暮らせる 村	支え合う福祉と健康の 村づくり	健康づくりと地域医療 の充実	生活習慣病予防の推 進	健康福祉課 住民課	特定健診受診率	52.8%(速報値)	52.7% (速報値)					60.0%	令和4年度の速報値は52.7%です。コロナ禍の影響でやや下降していますが、目標60%を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	・高齢化が増す中、検診率等あらゆる面で充実させることが重要。 ・近隣と連携し、質の高い地域医療の構築に期待する。 ・平日夜間や冬季の診療が不足している。 ・観光地である分、普通の自治体より問題が多い。				
					特定保健補導指導率	67.7%(速報値)	59%(速報値)					75.0%	令和4年度の速報値は59.1%です。コロナ禍の影響もある中減少傾向です。目標達成を目指します。						
			食育の推進	健康福祉課 教育課 農政課	食育ボランティア登録者数	29名	25						30			新規登録者もいますが、高齢化や仕事を始めたなどの理由による退会者もあり、減少傾向です。今後も、新規会員の登録に努めます。			
					地域医療体制の確保	健康福祉課	平日夜間救急医療事業実施日数	0	0							維持	新型コロナウイルス感染症対応により、令和2年4月より休診となり、受診者の減少により令和4年3月31日で廃院となりました。現在はあづみ病院と市立大町総合病院の救急外来で対応しています。		
			平日夜間救急医療事業患者数	0			0					維持							
			在宅当番医制度事業実施日数	延べ214日			213					維持	北部・中部・北部の3ブロックに在宅当番医を置き、救急緊急の医療応需体制の確保と充実を図り、医療業務を実施しました。						
			在宅歯科当番医事業実施日数	延べ72日			72					維持	平成18年度より在宅当番医を置き、緊急の医療体制の確保と充実を図り医療業務を実施しました。						
			スキー傷害診療実施日数	38日			37					維持	他に類を見ない本村のスキー傷害診療体制を索道事業者協議会、受託医療機関の理解のもと維持することが出来ました。新型コロナウイルス感染症の影響により半減していた受診者数でしたが例年並みに戻ってきました。						
			スキー傷害診療患者数	625名			941					維持	看護師等のスタッフ確保は年々困難になってきています。						
			医療従事者数(看護師・准看護師)	57			57					70	(数字の根拠となる長野県衛生年報は2年に1度12月の公表のためR2年度公表分)						
			介護人材育成講座受検者数(累計)	42			3					50	受験者数は少なかったが、検針を持つ議会議員に参加いただいた。						
			自立的・効率的で健全な 行財政の村づくり	情報通信技術の活用	個人番号カードの普及 及び活用による住民 サービス向上	住民課	個人番号カード交付率	42%	67%							30%	毎週木曜日の夜間と第2土曜日の休日申請窓口に加え、出張窓口も開設。さらにポイント紐づけサービスも展開しました。また、個人番号カードの受け取りには予約制を導入し、混雑による人為的紐づけトラブルも避けました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	・職員、住民双方のためにも積極的に業務の効率化を進めるべき。 ・個人レベルでは電子申請システムでワクチン接種や駐車場予約があるが、各地区からの要望やアンケート、会議の出欠届なども考えてほしい。 ・マイナンバーカードの普及率は、全国的に見ても高い。オンデマンドタクシーと紐付けている現在のような施策を増やすべき。 ・地区の要望がwebベースで見れるようにしてほしい。
							システム・基盤等の共同 調達やRPA導入による 業務効率化	総務課	システム・基盤等の共同調達	3件	5件								
					業務へのRPA	1件			1							2件	現在RPA導入業務はふるさと納税業務のみとなります。今後RPA化と相性のいい業務の選定や実際の削減量の検証などを進め、業務の効率化を進めます。		

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント	
	自立的・効率的で健全な行財政の村づくり	行財政改革の推進	魅力ある人材の確保と計画的・効果的な職員研修	総務課	職員研修受講数	42	76				130	コロナ禍でのWeb研修が定着し、多種分野にわたる研修に在年で参加可能となったことから、職員の受講数が増加しました。引き続き、職員の研修参加を推奨し、個々のスキルアップにつなげていきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・環境政策や観光地としての職員研修を一層強化すべきと感じる。 ・歳出の見直し、経費削減を進め、財政の健全化を。 ・職員研修、インターンの受け入れを積極的に行うべき。 ・業務の属人化を回避するために、統計的手法で客観的に行う考え方や、仕事の進め方を原理原則に基づいて考えるQCストーリーの考え方を職員研修に検討すべき。	
				総務課	インターンシップ受入人数	0	0				10	前年度に引き続きコロナ禍のため、インターンシップ受入を実施しませんでした。次年度以降、インターンシップ受入の再開を検討します。				
			総務課	実質公債費比率	13.1%	14.3%				15.0%未満	元利償還金の増により単年度数値14.3%まで悪化しました。今後も元利償還金は高止まりが予想されるので、健全財政の堅持に努めていきます。					
				将来負担比率	40.0%	21.7%				85.0%未満	地方債現在高の減や基金残高の増により前年度と比較して18.3ポイント大幅に改善しました。引き続き持続可能な財政運営に努めていきます。					
		財政健全化	税務課	村税現年課税徴収率	98.3 98.5	98.6				98.5%	令和3年9月に策定した、村税滞納整理マニュアルに基づき事務を遂行しています。今後もマニュアルに基づき事務を進め、未納金の早期納入と、納税相談による滞納額の抑制に努め、また財産調査・滞納処分の強化を図るとともに、滞納繰越分については入念な各種調査を実施し、滞納処分もしくは執行停止に繋げていきます。					
産業_新しい仕事をつくりだす村	「世界水準」を意識した観光の村づくり	競争力と持続可能性を高める観光地経営	白馬連峰への眺望の魅力最大化	観光課 総務課	眺望スポットの抽出	8	0				10箇所	令和3年度に選定済です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・観光地経営計画に沿った事業の進捗と、事業を実行するための観光財源の議論が進展することに期待。 ・通年型リゾートへの取組は、着実に効果がみられる。一方で、景観資源の保全とそれを活かした魅力的なまちづくりは具体的なビジョンに欠ける。特に無電柱化される駅前エリアは山の見える、歩いて楽しめる街並みを推進してほしい。 ・観光税の導入などで財源の確保をしていたが、環境整備をお願いしたい。	
				建設課	景観計画の策定対象面積	18,936ha	18,936ha				7,324ha	5年にわたり策定作業を進めてきた景観計画について、10月1日に新たな景観条例が施行、1月1日付けで新たな景観計画が発効となりました。今後は村が景観行政団体となり、主体的に景観施策を推進していくこととなります。				
			観光課	核となるスキー場と宿泊拠点の再生	ウインターシーズン(12-3月)観光客数(万人)	75	84				150	10月に訪日外国人観光客の受入が再開され、コロナ前の7割程度まで回復したことにより、ウインターシーズン観光客数はコロナ前の水準に戻りました。				
			観光課・総務課	国際リゾートに相応しい受入環境整備	危機管理マニュアルの構築							白馬村観光地継続マネジメント(DCM)の策定				2020年3月に白馬村観光防災マニュアルを策定、コロナ禍のためマニュアルを用いた防災訓練ができていない状況です。
			観光課	魅力の多様化に向けたコンテンツ創出	グリーンシーズン(4-11月)観光客数(万人)	82	119				130	白馬岩岳マウンテンハーバーやランドステーション白馬といった新たな拠点がグリーンシーズンを牽引しています。これらの会場では、音楽や食のイベントが継続的に開催されており、季節変動の平準化に期待が高まっています。				
			観光課	観光業の活性化・平準化による安定的な雇用創出	地域未来牽引事業者の新規雇用者数の累計	30	36				75	事業者の新規雇用は一服しています。				
			生涯学習スポーツ課	地域特性を活かしたスポーツツーリズムの推進	白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数	33,528	45,985				83,000	来場者数はコロナ禍からの回復が見られるが、修学旅行やインバウンド外国人の更なる誘客が課題です。				
					スノーハーブクロスカントリー大会出場者数	0	1,600				2,300	2,000人を上回るコロナ前の参加者確保が目標です。				
					スノーハーブマウンテンバイク大会参加者数	0	250				250	全国から参加のある小学生から高校生までのレベルの高い大会となっています。				
			観光課	観光施設の維持管理	老朽化施設等の修繕工事						2箇所	訪日外国人観光客の受入再開に伴い、公衆無線LAN認証サーバーを更新しました。				
観光課	広域観光の取り組み	エリア観光客のべ宿泊者数	174.5	2,510				3,066千人	前半は新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、後半にかけて回復基調がみられました。							

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント		
産業_新しい仕事 をつくりだす村	農地と森を守り地産を 活かす村づくり	優良農地の保全	里山環境の保全	農政課	耕作放棄地面積(ha) A分類(再生可能) 約12.9ha B分類(再生困難) 約21.0ha	A分類(再生可能) 約15.2ha B分類(再生困難) 約18.0ha					8.2ha→ A分類(再生可能) 8.2ha B分類(再生困難) 18.0ha	北城南部ほ場整備により、優良農地確保を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・里山環境の保全と、ほ場整備の推進は、バランスよく行わなければならない。それ自体が観光資源であるという視点が欠けてはならない。 ・ほ場整備の早期着工、ナラ材等の森林の早期整備をすること。 ・農地の保全は景観上、観光と結びついており重要。 ・農業に夢を持って参入した農業従事者が、いつの間にか目的が良質な農産物を作るのではなく、助成金をもらうことに変化してしまうのを見かける。助成金がなければ営農が成り立たないことも事実だとは思っているので、達成した成果に対して手厚い助成を行い、達成できない農家には返金要求もするようなメリハリが必要。 ・里山環境整備は成果が現れていない。補助事業の選択を含めて根本的な施策の転換が必要。		
					多面的機能支払交付金取組面積(農地維持)(ha)	427.39	456.25				436	対象農地面積が増加しました。加入組織に対する研修会を開催し、事業制度・交付金の使途について理解を促しました。					
			農業施設の維持管理	農政課	多面的機能支払交付金対象面積(長寿命化)(ha)	400.52	436.59				409	同上					
			ほ場整備の推進	農政課	北城南部地区ほ場整備面積(ha)	40.8	40.8				40.8	長野県が事業主です。村は地元との調整役です。3-4工区の工事が開始となりました。					
					新規地区(新田地区→北城北部地区)ほ場整備面積(ha)	52.1	49.9				52	地域の合意形成に時間を要しています。					
			認定農業者への支援	農政課	村単農業機械等購入補助件数(累計)	44	52				30→55	農業機械更新が大きな課題です。認定農業者による農業継続に必要な事業です。					
					認定農業者(担い手)への農地利用集積面積(ha)	432	437				490	認定農業者(担い手)への農地利用集積率は約75%と県内でも非常に高くなっていますが、大規模3法人への集積も限界にきており、他の担い手への集積が課題です。					
					認定農業者数	40	40				35→43	農業者は減少予想ですが、村の農業を担う認定農業者増加を目指します。					
			就農体験の機会づくり	農政課	ふれあい農場及び市民農園面積	3,831	3,146				1,900㎡→ 3,831㎡	家族で農業に親しむ場所となっています。14区画中、11区画利用されています。					
			有害鳥獣対策	農政課	農産物被害額(万円)	57	50				50	ザル目撃が増加傾向で、人馴れしてきています。直営事業等による緩衝帯整備と有害鳥獣実施隊による駆除に努めます。					
					電気柵資材購入補助件数(個人向け)	11	12				10	多くの住民から電気柵補助拡充意見ある一方、電気柵は転売される可能性もあるため、補助金交付に懐疑的な意見もあります。					
			農産物のブランド化と 特産品の生産・販売 の推進	農政課	米の品質向上・ブランド化	白馬産ブランド米生産農家数→信州の環境にやさしい農産物認証制度取得農家数	17	17				10→17				農業者は減少予想なので現状維持を目指しますが、県、JA、農家と関係者と連携し、環境認証のほか、有機JAS認証も啓蒙します。	
						特産品の生産・販売強化	紫米消費量(t)	7	8.3							8	アフターコロナの影響もあり好調でした。今後は生産者確保が課題です。
							特産品栽培面積(ha) (紫米、ブルーベリー、食用ほおづき、陸わさび、ミニトマト、加工トマト等)	8.2	12.1							10	栽培面積を精査しました。紫米60a、ブルーベリー2ha、食用ほおづき60a、その他園芸品8.9ha。
	地産地消の推進	農政課				道の駅販売品収入額→村内直売所数	7	8				300→ 7	村内直売所は増加傾向ですが、農業者は減少予想なので現状維持を目指します。				
						地場産品売上高(万円)→道の駅白馬ろまん市農産物直売所売上(万円)	2,200	3,900				2,600	アフターコロナの影響もあり売上は、前年を大きく上回りました。				
	ふるさと納税を活用した特産品のPR	総務課	ふるさと納税返礼品取扱事業者数	58	75				50	目標値は達成していますが、引き続き地場産品の提供を呼びかけ、多くの人知ってもらえるように努めます。							

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント	
産業_新しい仕事 をつくりだす村	農地と森を守り地産を 活かす村づくり	森林の整備と活用	森林整備地域活動支 援	農政課	森林整備面積（公共造林事業） (ha)	33	30				60	公共造林事業：飯田地区搬出間伐21.5ha（山仕事創造舎）、堀之内地区搬出間伐1.1ha（北アルプス森林組合）、木流川周辺緩衝帯整備2.9ha（北アルプス森林組合）、堀之内・大出村有地下刈4ha（林業経営者協会）、スノーハープ緩衝帯整備1.9ha（林業経営者協会）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.9	・観光地として美しい景観や有害鳥獣対策の視点からも、白馬村森林整備計画の整備目標が達成できるよう努めること。 ・森林整備の状況が見えるようになれば良い。 ・森林整備と森の健全化に特に力を入れてほしい。 ・間伐促進をさらに進めるべき。単独補助事業の導入の検討も必要。	
			間伐材の有効利用		公共施設への木質バイオマス暖房設備導入施設数	1	2				±か所→2	役場村民ホール、農業体験実習館に導入済みです。				
			森林資源とふれあう機 会の創出	農政課・観光課	木流川観察会開催数	1	1				年4回	4				コロナの影響により、開催回数は1回でした。
		みどりの少年団交流会開催数			0	0				年4回	4	コロナの影響により、開催できませんでした。				
		森林の里親促進事業交流会開催数			0	0				2	2					
		商工業の振興により雇 用を生みだす村づくり	商工振興・創業支援	商工振興	観光課	小規模事業者経営改善資金 助成金額（万円）	19	9								170
	創業支援と空き店舗活 用支援、後継者支援			観光課	創業支援者数	6	7					増加累計：20件	創業支援事業計画に基づき、白馬商工会と創業塾を開催、創業塾修了者のうち7名が起業しました			
					店舗後継者数	0	0					増加累計：5人	今後、宿泊産業の人材育成と事業継承に向けた検討を行っています。			
	新しいしごとの創出			総務課	村内ワーキングスペース施設数	2	2						10	・公共施設における施設数の増加には至っていませんが、村内民間事業者の生産性向上につながる取り組みとして導入する宿泊施設も増加しているとの観測もあり、確かな実態調査に努めてまいります。		
		ふるさと起業家支援事業を活用した起 業家数（累計）	1		1						5	・引き続き制度の周知に努めるとともに、地域課題を解決するための取り組み手法として民間連携の可能性を検討します。				
民間活力を活かす村づ くり	産官学金労言連携	大学・企業等との連携	総務課・ 観光課・ 健康福祉課・ 農政課・教育課	連携協定に基づき進行中の事業	6	6					5	【総務課】 ・地域課題の解決につなげる協定事業の実現に向けて、引き続き連携機関との事業協調や調整を進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.8	・進捗に乏しいものもある。	
ひと__一人ひとりが 成長し活躍できる 村	次代を担う子どもたち の学習支援	「自ら学び、自ら考える 力」と「生きる力」の育成	教育課	中学校情報端末活用生徒数（延 べ）	206	285					1,100	小中学校で一人一台端末が実現されています。自宅に持ち帰りオンラインでの授業も進めており、端末の使用率は上がっていますが、中学校は平成27年度と端末の導入が早かったため老朽化が進んでいます。今後計画的に端末の更新を進めたいと考えています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・白馬高校の他県からの入学者数が目標に届くような積極的な取り組みが求められる。 ・地産地消は良いことだが、安全で栄養価の高い食材を第一に。 ・少子化の影響があるのでもっと細かい指導を願う。 ・コメントのとおり端末がビックリするほど古い。また、子供達の方がPCリテラシーが高く、指導者側のDX化が急務。 ・学習ボラは素晴らしい。さらなる充実を望む。	
				小学校情報端末活用児童数（延 べ）	396	461						690				小中学校で一人一台端末が実現されています。自宅に持ち帰りオンラインでの授業も進めており、端末の使用率は上がっています
		地域に開かれた学校づ くり	教育課	学習ボランティア登録数	24	24					3校計 100名	新型コロナウイルス感染症の影響で小学校では外部講師等と呼ぶことができませんでした。				
		安心・安全な学習環境 づくり	教育課	子どもを守る安心の家登録数	92	92						95箇所				廃止箇所と新規箇所の入れ替えがあり、総数は変わりませんでした。
				地場産食材の使用率 野菜・果物・きのこ類	52% 11%	39% 13%						長野県産比率 60% (うち、白馬産比 率13%)				主食は直接仕入れにより100%白馬村産となっているが、野菜等について白馬村は気候風土の特徴として通年生産できないので、なかなか地場産率が上がらない
		学びあい育てあう村づくり	地域を担う人材の育成	総務課 (白馬高支援)	しろま学舎塾生数	31	26					60				
	他県からの入学者数			8	5						20					
	総務課	ふるさと人材奨学金返還補助対象者 数（累計）	4	4							8	白馬高校生を中心に周知を行っていますが、卒業生への周知も検討し、活用を図っていきます。				

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント		
		自己実現を目指す生涯学習と青少年育成	限りない向上心を支える生涯学習	生涯学習 スポーツ課	講座開催回数（のべ）	61	78				60	料理教室なども再開し、多くの方に参加していただくことができました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい図書館は着実に進展させることが必要。</li> <li>・芸術の振興については、村内の芸術家の作品を常設展示できる場が求められる。</li> <li>・一般的に市町村に存在するハードがない。芸術系コンサートの類の行事は、これ以上の数字は望めない。</li> <li>・使用頻度にもよるがスタッフの充実が必要。</li> </ul>		
																1,200	料理教室なども再開し、多くの方に参加していただくことができました。
			図書館の充実	生涯学習 スポーツ課	図書館来場者数（延べ）	8,741	9,398					30,000				コロナ禍ではありましたが、少しずつ来館者が戻りつつあります。SNSによる情報発信・館内イベントの開催等により利用促進に取り組んでいます。	
			人権教育の推進	生涯学習 スポーツ課・ 住民課												【生スポ課】青少年育成村民大会で木村泰子さんに子どもたちの人権をテーマに講演いただいたほか、木村泰子さんが初代校長を務めた大阪市立大空小学校を舞台にしたドキュメンタリー映画「みんなの学校」上映会も開催しました。	
			文化・芸術の振興	生涯学習 スポーツ課	コンサート等入場者数（延べ）	1400	1053				1,250	「NAGANO国際音楽祭in白馬」が中止となりましたが、文化庁の補助事業を活用して「邦楽・民謡フェスティバル」を開催したほか、白馬村で撮影された映画「土を食らう十二月」上映会を開催し、多くの方に鑑賞いただきました。					
ひと一人ひとりが成長し活躍できる村	生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり	スポーツによる健康づくりと活力の創造	スポーツによる健康増進	生涯学習 スポーツ課	週1日以上スポーツをする人の割合	49%	-				46%	令和6年度スポーツ推進計画の見直しが行われるため、アンケートを実施し実績値を求める	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の育成には指導者に対するスキルアップ等長期的なサポートが必要。</li> <li>・スポーツの必要性和健康のためにもあらゆる面でアピールすることが重要。</li> <li>・スキー大会以外は特に目立った活動は見られない。</li> </ul>		
																	6,000
			子どもが日常的に楽しくスポーツに取り組むことができる環境づくり	生涯学習 スポーツ課	中学生のスポーツ実施率	84.0%	-									89.0%	令和6年度スポーツ推進計画の見直しが行われるため、アンケートを実施し実績値を求める
					小学生のスポーツ実施率	88.0%	-									80.0%	令和6年度スポーツ推進計画の見直しが行われるため、アンケートを実施し実績値を求める
			スポーツ競技者の競技力向上	生涯学習 スポーツ課	スポーツ功労賞等受賞者数	28	30									30	ウインタースポーツ以外でも全国大会で活躍する選手が増えています。引き続き受賞者の掘り起しを行います。
					スポーツ少年団登録者数	320	320									410	少子高齢化により減少傾向がみられます。また、取り組むスポーツの多様化が進んでいますが、登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。
					体育協会加盟団体登録者数	1,000	930									1,300	少子高齢化により減少傾向がみられます。また、取り組むスポーツの多様化が進んでいますが、登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。
					白馬村スキークラブ競技登録者数	50	32									70	村の文化でもあるスキー競技の発展に向け、スキークラブと連携し、競技者登録増加を目指します。なお、小中学生の競技者数は115人で減少傾向です。
			スポーツ施設の整備及び充実	生涯学習 スポーツ課	社会体育施設等利用者数（延べ）	47,000	61,000									96,000	施設入館に電子カードを取り入れましたが、予約システムの導入など、引き続き利用しやすい環境の構築に努めます。
					ウイング21利用者数（延べ）	67,000	74,000									62,000	各種団体が開催するイベントや教室の開催数により利用者数の増減があります。今後も関係団体と連携を図り利用者数の増加に努めます。
					クロスカントリー競技場利用者数（延べ）	7,000	11,000									13,500	新型コロナウイルスの影響が回復傾向にありますが、管理委託している白馬村スキークラブとも連携し、さらなる利用者を増やすよう努めています。

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント
一人ひとりに活躍の場がある村づくり		人のつながりによる活力の創出	若者交流・結婚支援	総務課	広域連携による若者交流イベント開催回数	1	0				2	新型コロナウイルスの影響により、交流イベントの開催ができなかったため、オンラインによる「ライブセミナー」を実施しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.6	・コロナ後の活動に期待。
					婚姻数	100	104			150					
		男女共同参画社会の推進	女性活躍の推進	総務課	白馬村役場の女性職員の課長・係長登用割合	18%	15%				35%	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない			
					白馬村役場の女性職員の採用割合	0%	33%			40	採用人数6名中、女性職員2名（一般職1名、保育士1名）を採用しました。				
自然_魅力ある自然を守る村	かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり	天恵の自然との共生	自然環境保護	観光課 総務課 生涯学習 スポーツ課	環境配慮型トイレへの改修	0	0				2	【観光課】山岳トイレは改修時に環境配慮型へ移行するよう検討します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	1.8	・八方池山荘立替に先行して進めるべき。 ・小水力発電に期待したい。
					気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言に対する取り組み	総務課	気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言の行動計画の策定	ゼロカーボンブックの作成	○				行動計画の策定		
	自然エネルギーの利活用	クリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	農政課 観光課 総務課	小水力発電量（万Kwh/年）	117	129				140	【農政課】順調に稼働しました。発電機に負荷をかけない安全運転をこころがけています。				
				ペレットストーブ購入補助件数（累計） 薪ストーブ・ペレットストーブ購入補助件数（累計）	55	60			34→75	【農政課】令和4年度より薪ストーブ購入に対する補助金を創設しました。					
				ペレット販売数量(袋)ー 伐採木配布回数	0	4			1300→4	【農政課】支障木。ナラ枯れ材を有効利用するため、村民へ配布しました。					
				低公害公用車両数	5	5			6	今年度については、低公害車の購入はありません。公用車の更新にあわせ、計画的に低公害車へ更新していきます。					
				EV自動車普通充電設備助成件数	13	5			30件/累計	・R5からEV自動車等購入促進事業補助金を創設し、自家用車の買換え需要に合わせてEV車への展開を期待しています。 ・あわせて、充電設備の助成件数も比例して増加すると見込んでいます。					
3.0	・庁内横断的な組織によりゼロカーボン行動計画の早期策定を。 ・公用車のEV化を率先して進めてほしい。 ・EV購入補助金の創設は評価できる。 ・周知不足である。崇高な理念の割には指標の項目が矮小化されている。 ・地産地消を推進することで、遠方からの輸送により発生するCO2の削減にもつながるため、地産地消の生鮮食料品の消費量を測定する方法も検討すべき。														

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント					
自然との生き方を受け 継ぐ村づくり	守るべきふるさとの歴史と文化の継承	先人が築いた有形・無形文化継承	生涯学習スポーツ課	村の歴史や文化を知る講座やイベントの開催回数		24	25				15	引き続き公民館講座「山麓めぐり」や信州大学と連携して震災アーカイブ事業に取り組んでいます。文化祭では、山岳写真やギョウチョウなど地域資源に関する展示を行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・山岳観光の歴史は、行政も保存・管理・展示に積極的となってほしい。 ・文化・歴史に係る講習会や研修会はよく開かれているが、さらに期待する。 ・講習会や研修会は、土曜、日曜日にも開催することを検討してほしい。（観光経営に携わっている人が多いため、平日開催が多いが土・日・休日にも配慮願いたい。）					
					登山・スキーの歴史・文化の継承	生涯学習スポーツ課	体協スキー教室参加者数		70	42							70	スポーツニースの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。参加者の満足度は高いが、参加しやすくスキーの楽しさを伝える工夫の取り組みを行います。		
		村民登山参加者数		-			27				20	新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりましたが、多くの方に参加いただきました。								
	美しい景観を守り育む 村づくり	自然環境に調和したまちづくりの推進	世界水準の観光地に相応しい開発基準	建設課	世界水準の観光地にふさわしい開発基準	環境審議会1回		環境審議会5回				-				景観計画の策定に合わせ、大規模開発に対する一定のルールを定めた開発調整条例を制定し、1月1日から施行となりました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・駅前エリアは白馬の顔であり、無電柱化とあわせて自然と調和した歩いて楽しめるまちづくりが必要。 ・デジタルサイネージ等新たな広告物への考え方を明確にしてほしい。 ・観光地であることから建設事務所並みの道路管理（草刈り）が求められる。 ・概ね良好。ただし建築物構築物への景観指導には問題がある。統一した指導を求める。 ・空家対策の活動が見えない。 ・粉塵清掃に機械化投資を進めたこと、直営による道路維持作業を実施したことは評価する。	
			美しい風景を守るための景観形成	建設課	景観計画の策定	景観計画策定委員会11回		景観計画策定委員会（景観審議会）5回								計画策定				5年にわたり策定作業を進めてきた景観計画について、10月1日に新たな景観条例を施行、1月1日付けで新たな景観計画が発効となりました。今後は村が景観行政団体となり、主体的に景観施策を推し進めていくこととなります。
					白馬駅前無電柱化に伴う歩道の修景距離		130m		130m							1,100m				国道148号（白馬駅南）の無電柱化工事に合わせ、歩道の修景事業を行った他、地元地区で行う街路灯整備に対する支援（補助金交付）を行いました。
屋外広告物パトロール実施回数					1回		1回				1回/年									
空き家・廃屋対策	総務課		空き家の数		14軒		14軒				14軒	移住政策への波及を含め、空き家バンクの創設に向け、村内の空き家・空き地の情報収集を実施します。								
不法投棄・野外焼却の防止	住民課	不法投棄パトロールの回数		34		35				34	週1回の不法投棄監視員による巡回を継続しています。野外焼却や悪質な不法投棄の通報があるごとに直接指導を行い、状況によっては県と連携して指導に当たっています。また、ホームページ、広報誌等を利用しての周知を引き続き図ります。									

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R4実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R4成果に対する 外部評価	R4外部評価コメント					
自然_魅力ある自然を守る村			美しい風景を守るための道路景観保全	建設課	村道管理幅の支障木、雑草の防除	管理総延長315km	管理総延長315km				L = 10.0Km	集落支援員1名を雇用し、直営による道路維持作業を行いました。 また地区で行う沿道の草刈り作業等に対し燃料費支弁等を行い自主活動を支援しました。 燃料費支弁 延26件	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない							
					道路と景観を一にする緑地の除草回数	3	3			5回	夏の観光トップシーズンに合わせて3回実施しました。									
					道路粉じん清掃の実施	2	5			2回	小型ホイールローダーを導入したことで作業効率が向上し、例年以上の5回実施しました。									
きれいな水と空気に囲まれる村づくり		ごみ処理広域化への対応とごみ減量化		住民課	地区集積場箇所数	79	79				80	集積場の改修等は1地区3か所について補助を行いました。今後も特に老朽化の進んだ集積場の回収等の働きかけを積極的に行っていきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・生ごみ処理に関して、大規模調理施設（給食センター、高齢者施設、ホテル等）の生ごみを地域内循環を進めるべき。 ・観光客への分別・リサイクルの啓発も必要。 ・さらなるリサイクル率の向上を図ること。					
				住民課	生ごみ処理機利用世帯数	378	402			330	生ごみ処理機購入補助について、補助対象者の枠を広げ、より多くの生ごみが自家消費される環境を整えました。									
					焼却ごみの量 (t/年)	2,420	2,817			2,800	人流の復活によりごみの総排出量が増えました。未だその過渡期であると思われ、新たなごみ減量プランを検討します。									
		住民課	リサイクル率	18.8%	18.8%			30.0%	人流の復活によりごみの総排出量が増えました。啓発方法を工夫し、リサイクルへの意識の向上を引き続き図ります（令和4年度のリサイクル率は未だ算出されないため見込み数）。											
		きれいで安心・安全な水環境				上下水道課	有収率の向上	43.87	44.45							60	R3年度の有収率低下を受けて、更新工事や漏水修理に尽力しましたが、大きな成果となっていません。引き続き冬期間の宅内漏水への注意喚起や管路更新・修繕に取り組んでまいります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・水道水の安全性や、おいしさをPRするため、フランス・パリのように公共のマイボトル給水ポイントを作ってはどうか。ペットボトルの削減にもつながる。 ・水道インフラのような見えないインフラは、IT化により未来のため情報蓄積が重要。 ・有収率を上げる方法を検討すること。
						上下水道課	良好な水源水質の持続	基準内	基準内							原水全項目検査を基準内に維持する				
						上下水道課	ストックマネジメントの実施	0	30			100				R4におけるストックマネジメント全体計画の策定は完了し、R5は個別計画及び耐震診断を行う予定です。				
住民課	効率的な尿処理方法の確立										し尿・浄化槽汚泥を公共下水道にて一元的に処理する下水道投入施設の建設について、土地所有者の同意を得たため事業を進行、地質調査を完了しました。									

# 白馬村総合計画等評価委員

(敬称略)

	役職名	氏名
1	白馬村民生児童委員	太田 文敏
2	白馬商工会副会長	松本 平司
3	白馬村スポーツ協会会長	山岸 忠
4	区長会会長	西澤 敏
5	大北農協白馬支所長	竹田 俊幸
6	白馬村索道事業者協議会会長	星野 裕二
7	白馬村観光局事務局長	福島 洋次郎
8	白馬村スキークラブ会長	中村 光志
9	白馬EVクラブ事務局長	渡辺 俊介
10	白馬村建設業組合	太田 具英
	事務局	
1	総務課長	田中 克俊
2	総務課 企画調査係長	山岸 大祐
3	総務課 企画調査係	横川 健太